

(福) 遠江学園 平成29年度事業報告

I 法人本部

1. 基本方針及び基本理念

1997年法人設立当初より掲げてきた、自然との共生を目指し、ものづくりひとすじの思いを土台とした法人運営を行ってきた。

～ 基本理念 ～

- ・ 私たちは、自然との共生・地球環境の保全に寄与し、資源の循環を目指します
- ・ 私たちは、自然の中に生かされていることを自覚し、地域とともに、共生社会の発展に努めます
- ・ 私たちは、利用者さんの自己実現のために、一人ひとりにしっかり寄り添い、声なき声をくみ取ります
- ・ 私たちは、職員一人ひとりが法人の一員であることを自覚し、社会人として常に研鑽を積んでいきます

—— 平成28年2月25日制定 ——

2. 平成29年度重点取組み事項

(1) 第一次中期経営計画の推進（計画期間：平成29年度～平成33年度）

社会福祉法人制度改革に伴い、中・長期的視点に立った法人運営が求められている。こうしたことから、平成28年度に策定したこの計画の1年目として、就労継続支援B型「みなみ」、共同生活援助「やしま」の施設整備に向け、土地取得等を行った。

【概要】

施設等の種類 : 就労継続支援B型「みなみ」、共同生活援助「やしま」
建設予定地 : 雄踏町山崎長者平5526番1、5526番2、5526番3
面積 : 2,440.36㎡
・ 5526番1(1,754㎡) ・ 5526番2(433㎡) ・ 5526番3(253.36㎡)

【経過】

平成29年10月17日 不動産売買契約書締結
" 10月26日 融資先金融機関と契約
" 12月1日 土地代決済
" 12月11日 土地所有権移転登記
平成30年 2月27日 地質調査実施
" 3月27日 土地分筆登記

(2) 社会福祉法人遠江学園設立20周年記念事業

平成9年10月法人が設立され、20年を迎え、記念事業を行った。

日時 : 平成29年10月21日(土)
会場 : ホテルコンコルド浜松
参加者 : 208名(利用者131名、お客様35名、職員42名)
内容 : ・ 記念誌の発行「創立20周年記念誌 ～かがやく笑顔・つなぐ思い～」
・ 記念式典、及び祝賀会

3. 評議員会・理事会等

(1) 評議員会 (1回)

開催月日	出席者数	審議事項
平成29年6月21日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度計算書類及び附属明細書の承認について 新役員の選任について 役員の報酬等の額(総額)について 役員等の報酬規程の制定について 《報告事項》土地購入に係る不動産買受依頼について

(2) 理事会 (6回)

開催月日	出席者数	審議事項
平成29年6月2日	理事 5名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告(案)について 平成28年度計算書類、附属明細書、及び財産目録(案)について 役員の報酬等の額(総額)について 役員等の報酬規程(案)の制定について 経理規程(案)の改正について 経理規程細則(案)の制定について 監事監査規程(案)の制定について 土地取得にかかる不動産買受依頼について 平成29年度第一回定時評議員会招集決議及び招集事項(案)の提出について 新役員候補者の推薦について
平成29年6月21日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 理事長選任について 業務執行理事選任について まつかさ第一次補正予算(案)について 法令遵守規程(案)の制定について 個人情報保護・管理規程(案)の制定について 土地購入にかかる不動産買受依頼について
平成29年9月27日	理事 5名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度第二次補正予算(案)について みなみ、及びやしま移転ともなう土地取得等にかかる借入について
平成29年10月7日	決議の省略 理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> みなみ、及びやしま移転ともなう土地取得等にかかる借入について
平成29年11月22日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 人事案件について 制裁委員会規程(案)について 報告事項 職務執行状況について
平成30年3月27日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度第三次補正予算(案)について 平成30年度事業計画(案)について 平成30年度当初予算(案)について 就業規程の改正(案)について 準職員就業規程の改正(案)について 報告事項 職務執行状況について

(3) 監事監査 (業務執行状況、及び財産の状況を監査)

開催月日	種別	監査項目
平成29年5月17日	決算監査	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告書 (障害福祉サービス事業) 平成28年度計算関係書類及び財産目録
平成29年11月15日	定期監査	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度中間(平成29年4月～9月)業務監査及び会計監査

(4) 月次監査指導（会計事務所による会計データ監査、経営助言等）

開催月日	内 容
毎月1回	・会計データの監査、及び月次試算表作成指導

(5) 障害福祉サービス事業所等の実施指導

事業所	開催日時	指 導 項 目
みなみ	平成29年11月22日	指摘事項なし
やしま	平成29年10月26日	指摘事項なし

4. 会議・研修等

(1) 内部会議

会 議	実施（曜）日	参 加 者
理事長定例会議	毎月1回	理事長、業務執行理事、事務長
運営会議	月1回	園長、事務長
企画会議	第2土曜日	園長、事務長、主任
工賃評定会議	半年に1回・適宜	園長、サービス管理責任者、主任
職員会議	毎朝(15分)、毎夕(40分)	全 員
支援会議	半年に1回・適宜	全 員

(2) 内部研修

研 修 名	内 容
施設長・主任者研修	・中期経営計画研修、経営理念、経営計画に基づいて予算作成研修を5回にわたって実施。
新任職員研修	・法人の基本方針や規程等の説明
自己啓発研修	・業務の振り返りチェックシートを使用して自己啓発につとめた。
内部研修会	・救命救急講習について ・就労支援を工賃から考える
年度末職員研修	・平成30年度事業計画・会計予算、平成29年度授産事業のまとめ、ミニグループ討論会等。
自主研修	・事業所毎に研修計画を立て、年間6回程実施。 支援への共通認識を深め、相談しやすい職場づくりも兼ねた。

(3) 外部会議

・管理部門研修

研修日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
平成29年 4月13日	監事監査研修会	静岡市	静岡県社会福祉協議会	監事2、 施設長1
5月29日 8月28日	就労継続支援B型事業所意見交換会 安全運転管理者等講習会	浜松市 浜松市	浜松市 静岡県公安委員会	施設長3 サービス管理 責任者1 施設長1
10月4日	社会福祉法人における労働時間管理・問題職員対応の実務	東京都	(一社)日本経営協会	施設長1
平成30年 1月31日	社会福祉法人 決算実務講座	静岡市	静岡県社会福祉協議会	施設長1

・キャリアアップ研修

研修日	研修名	場所	主催	参加者
平成29年 4月21日 5月18日	スプラッシュで染める「不思議染め」(木綿編) ガラ紡研修	京都府 愛知県	(株)田中直染料店 愛知大学 中部地方産業研究所 生活産業資料館	生活支援員1 職業指導員1、 生活支援員2
5月26日 6月2日 6月29日 ～30日	生活困窮者自立支援事業のこれから・・・ 藍染め手ぬぐいの模様染め 関東就労センター研修会	浜松市 京都府 神奈川県	浜松市 (株)田中直染料店	施設長1 生活支援員1 サービス管理 責任者1
7月10日 7月13日 7月19日 7月25日	医療・看護講座 (9月1日、10月6日) 第52回静岡県知的障害者福祉協会大会 絵画療法講座 (7月27日、9月6日) 高齢者・障害者福祉施設従事者等による 虐待防止に取り組む	静岡市 静岡市 三島市 浜松市	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県知的障害者福祉協会 静岡県知的障害者福祉協会 浜松市	職業指導員1 生活支援員2 生活支援員1 職業指導員1
8月7日 9月8日 9月19日 9月29日	音楽療法講座 (8月28日、30日) 静岡県通所施設連絡会職員研修 I 第20回磐田学園強度行動障害研修会 第1回浜松市相談支援専門員等研修会 (12月18日)	静岡市 磐田市 磐田市 浜松市	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県通所施設連絡会 静岡県 浜松市	生活支援員1 生活支援員1 職業指導員1 職業指導員1、 サービス管理 責任者1
10月5日	茨城県東海村に学ぶ災害時における対応の方法	浜松市	湖西市	サービス管理 責任者1
10月19日 10月30日	地域支援部会研究集会 しずおか授産品ブランド化推進事業授産 製品相談会	静岡市 静岡市	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県	世話人1 生活支援員1
11月10日 ～11日	日中活動支援部会研究集会	浜松市	静岡県知的障害者福祉協会	施設長1、 サービス管理 責任者1、 生活支援員3、 看護師1
11月15日 ～16日	生産部会・就労支援部会研究集会	御殿場市	静岡県知的障害者福祉協会	施設長1、 サービス管理 責任者1
11月30日 12月20日	農福連携支援研修 (12月12日) 農福連携事業説明会 (2月26日)	静岡市 静岡市	静岡県 (公財)静岡県産業振興財団	職業指導員1 サービス管理 責任者1
平成30年 1月25日 2月1日	施設長等研修会 ガラ紡研修 (合糸撚糸)	静岡市 愛知県	静岡県知的障害者福祉協会 愛知大学 中部地方産業研究所	施設長1 施設長1、 職業指導員1、 生活支援員2
2月2日 3月7日	ファーマーズマーケット果樹栽培講習会 浜松市精神・発達障害者就労支援フォロー アップ事業スキルアップ研修	浜松市 浜松市	J Aとびあ浜松 浜松市	職業指導員1 サービス管理 責任者1、 職業指導員2

5. 施設運営

(1) 施設の概要

(平成30年3月31日現在)

名称	ひくまの		みなみ	まつかさ	やしま	あかね	
種類	生活介護	就労継続支援B型	就労継続支援B型	就労継続支援B型	共同生活援助	共同生活援助	短期入所
利用定員	15	40	20	20	4	7	1
在籍数	17	46	22	21	4	6	—

(2) 施設整備及び主な修繕

①施設整備

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
みなみ	・農作業用耕運機整備	264 千円
	・綿つむぎ用機材整備	499 千円
	・移転用地取得 他	93,175 千円
やしま	・移転用地取得 他	9,430 千円

②主な修繕

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
ひくまの	・東側フェンス改修工事	540 千円
	・2階階段手すり工事	270 千円

6. 職員構成

(平成30年3月31日現在)

施設等 職種	多機能型事業所 「ひくまの」		就労継続支援B型 「みなみ」	就労継続支援B型 「まつかさ」	共同生活援助 「やしま」	共同生活援助 ・短期入所 「あかね」	計
	就労B	生活介護					
管理者	1		1	1	1(兼)	1	4
嘱託医		1 (1)					1 (1)
サービス管理責任者	1	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	3
職業指導員	3 (2)		1 (1)	3			7 (3)
生活支援員	3	4 (1)	2 (1)	1 (1)	3(兼) (2兼)	3(兼) (2)	14 (6)
看護師		2 (1)					2 (1)
世話人					3 (3)	5 (5)	8 (8)
事務員	1 (1)						1 (1)
運転手	1 (1)		2 (2)				3 (3)
計	18 (7)		7 (4)	5 (1)	5 (4)	8 (7)	44 (24)

※ () 内の数字は準職員の人数で再掲。

※ 産休・育休の職員は含まれていない。

7. 主な年間共通行事

実施日	行 事 名
平成29年	
5月 24日	家族会総会
10月 21日	社会福祉法人遠江学園20周年記念式典(ホテルコンコルド浜松)
平成30年	
1月 12日	『新成人を励ますつどい』実施
2月 23日	新入所者オリエンテーション
3月 26日	平成30年度入所式

Ⅱ ひくまの（多機能型事業所）

1. 施設運営

（1）生活介護事業

日常生活に必要な食事、整容、排泄等の介護や働くこと、創作活動などの機会を日中活動の中で提供し、「スマイル」の通称のように利用者の喜びや自己実現を活動を通じて支援し、また、個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

本館2階を主会場としてスマイル独自の独立した活動を意識して展開し、利用者の意思決定を大切にしながら日中活動を提供してきた。また生産活動では、スマイル独自の商品を積極的に開発し、販売等につなげてきた。

（2）就労継続支援事業（B型）

働く場として就労の機会を提供し、利用者の働く喜びが保障され、働く力、人として生きていく力が備わるよう個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

作業内容は、小規模多機能の形態を維持し、利用者の意思決定が毎日の生活や活動に充分反映されるような日中活動を展開した。

就労継続支援事業所として、新たに「働く」という視点を重要視し、工賃向上も視野に入れた支援体制を目指し、作業場所が増改築されたことにより、より快適な作業環境が整えられ、障害の特性に合わせた個別支援体制も充実させてきた。

2. 施設利用状況

（1）生活介護（定員15名）

項 目		単 位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	268	268	254
	契約者数	人	17	16	17
	延べ人数	人	4,050	3,885	3,669
	1日平均		15.1	14.5	14.4
	利用 率	%	100.7	96.6	96.3

・利用者の状況（平成30年3月31日現在）

地 域 別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	1	1	2	7	4	0	0	0	0	2		
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別				
	1	6	6	4	0	0	0	11	6			
障 害 支 援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	1	8	8	0	0	0	4.6	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	1	1	0	0	15	1	0	0	0		

(2) 【就労継続支援B型】 (定員40名)

項 目		単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	268	268	254
	契約者数	人	48	46	46
	延べ人数	人	11,094	11,295	10,696
	1日平均	人	41.3	42.1	42.1
	利用率	%	103.4	105.3	105.3

・利用者の状況 (平成30年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男	女
年 齢 別	15	12	7	7	1	0	1	2	1	0			
	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上						
障害支援 区 分 別	1	19	11	7	6	2	0	12					
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	0	1	9	16	8	0	3.8						
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			
	0	2	0	0	1	23	21	0	0	0	1	0	

3. 就労支援事業

(1) 生活介護(スマイル)：全体

(単位：円)

事 業	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
自主作業	17,677	29,212	11,535
下請作業	534,865	307,261	△227,604
合 計	552,542	336,473	△216,069

①自主作業

(単位：円)

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
果樹園芸	6,050	22,200	16,150
染織縫製	11,627	7,012	△4,615
合 計	17,677	29,212	11,535

(2) 就労継続支援B型：全体

(単位：円)

事 業	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
自主作業	4,813,201	4,253,500	△559,701
下請作業	4,801,415	5,667,110	865,695
合 計	9,614,616	9,920,610	305,994

①自主作業

(単位：円)

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
果 樹 園 芸	1,856,482	1,646,975	△209,507
染 織 縫 製	542,599	581,898	39,299
パ イ オ	377,625	52,684	△324,941
食 品 加 工	2,036,495	1,971,943	△ 64,552
合 計	4,813,201	4,253,500	△559,701

②受託作業

(単位：円)

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
農 場 整 備	4,801,415	5,667,110	865,695
清 掃 作 業			
優先調達関連作業			
下 請 作 業			
合 計	4,801,415	5,667,110	865,695

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	生活介護			就労継続支援B型		
	平成28年度	平成29年度	差 額	平成28年度	平成29年度	差 額
平均	1,960	1,997	37	11,683	11,213	△470
最高	2,575	2,498	△77	20,740	20,844	104
最低	1,399	1,492	93	2,241	3,339	1,098

(1) 生活介護事業：月別

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	29,830	29,840	29,130	20,920	20,950	29,830	29,810	29,840	72,810	24,820	24,850	40,800	383,430	540,560
月額最高額	2,520	2,500	2,400	1,530	1,540	2,480	2,530	2,480	4,960	2,060	2,030	2,940	2,498	2,575
月額最低額	1,210	1,490	1,430	1,060	1,000	1,000	1,000	1,000	4,110	1,210	1,190	2,200	1,492	1,399
	平均工賃月額												1,997	1,960

※本年度より平成29年12月は賞与（一律3,000円、¥48,000）、平成30年3月は年度末手当（一律1,000円、¥16,000）を含む。

(2) 就労継続支援事業（B型）：月別

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	449,730	449,750	449,680	399,780	499,830	499,730	549,820	549,800	774,790	549,720	499,770	539,750	6,212,150	6,495,960
月額最高額	18,540	18,750	18,410	16,660	18,680	19,580	22,220	21,770	22,430	24,200	22,170	19,720	20,844	20,740
月額最低額	4,230	2,620	5,180	1,000	1,000	3,400	1,000	5,680	5,960	1,000	1,000	1,000	3,339	2,241
	平均工賃月額												11,213	11,683

※本年度より平成29年12月は賞与（一律5,000円、¥225,000）、平成30年3月は年度末手当（一律2,000円、¥90,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) クラブ活動

クラブ名	講師	参加人員	備考
卓球クラブ	木村由美子、小林利到子	5名	毎月1回実施
音楽クラブ	永吉 真弓	8名+5名	毎月1回実施
絵画クラブ	職員	11名+16名	毎月1回実施
ダンスクラブ	ヒロタツダンスシティ	9名	毎月1回実施
アクティブクラブ	職員	6名	毎月1回実施
パラスポーツクラブ	職員	7名	毎月1回実施

- ・利用者の希望を取り入れて、楽しく活動した。わかふじスポーツ大会へ卓球クラブ（平成29年9月）、パラスポーツクラブ（平成29年8月）が参加。絵画クラブは愛護ギャラリー展に出展（平成29年12月）。

(2) 茶話会

毎月1回（毎月第4金曜日）に、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。

利用者の親睦及び利用者の意見交換の場として大切に位置づけてきた。その月の誕生者には、今年度は花鉢をプレゼントし、全員でお祝いをした。

秋の旅行については、話し合いで目的地等の希望が出され、全員での「修善寺 虹の郷」へ日帰り旅行を行った。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日中活動を送ることができるよう、次のような地域社会活動に積極的に参加した。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行 事 名
平成29年	
4月 1日	新年度業務開始
5月 5日	百里園凧揚げ会による練り慰問
5月 8日	健康診断（胸部x-p、血液検査）
5月 17日	家族会・三事業所合同「綿の種まき」
5月 24日	家族会総会
5月 28日	知久農業体験教室共催事業（第1回 綿花・ひまわりの種まき 他）
6月 24日	交流イベント「じゃんだらにい」（なゆた浜北）にて授産製品販売
7月 16日	知久農業体験教室共催事業（第2回 ひまわりの花つみ 他）
7月 23日	浜松ロータリークラブによる奉仕作業（ブルーベリー園の除草・収穫）
8月 4日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 24 th in 四季彩堂』を
～ 6日	開催
8月 21日	氷まつりに参加
8月 27日	わかふじスポーツ大会参加（パラスポーツクラブ）
9月 18日	わかふじスポーツ大会参加（卓球クラブ）
9月 22日	社会体験旅行 【日帰り：修善寺 虹の郷】
10月 5日	静岡県授産製品コンクールに出品
10月 21日	社会福祉法人遠江学園20周年記念式典（ホテルコンコルド浜松）
10月 22日	百里園町民運動会は雨天の為、不参加
11月 4日	聖灯祭（聖隷クリストファー大学）にて授産製品販売
11月 5日	知久農業体験教室共催事業（第3回 綿つみ、収穫祭 他）
〃	感謝祭（三ヶ日B&G海洋センター）にて授産製品販売
11月 16日	歯科検診
11月 19日	障害者週間啓発イベント（浜松市ギャラリーモール ソラモ）にて授産製品販売
11月 25日	浜北特別支援学校けやき祭にて授産製品販売
12月 4日	絵画クラブ作品をギャラリーポテト（浜松信用金庫三方原支店内）にて展示
～ 25日	
12月 10日	知久農業体験教室共催事業（第4回 糸つむぎ、機織り体験 他）
12月 14日	愛護ギャラリー展（静岡県コンベンションセンター グランシップ）にて出展
～18日	
平成30年	
1月 12日	『新成人を励ますつどい』実施（対象者1名）
2月 23日	新入所者オリエンテーション
3月 20日	浜松ロータリークラブ例会にて法人紹介と授産製品販売
3月 26日	平成30年度入所式
3月 27日	『感謝のつどい』実施

※毎月第3日曜日に伯明デイサービス「のきした市」にて授産製品を販売

6. 災害防止対策

学園内の事故防止、通園途中の交通事故防止についての指導をその都度実施した。

また火災、地震を想定した防災訓練を3ヶ月に1回実施し、合わせて防災設備の自主点検を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成29年 4/26 (水)	火災・消火	利用者 56人 職員 15人 71人	14時10分	午後の作業時間中、東側隣家より(ピット側)出火を想定。ピットからの報告を受け、館内放送で第二避難所へ避難を開始。終了後、消火器の場所の確認、点検、取り扱いの確認を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
7/14 (金)	地震・避難	利用者 61人 職員 15人 76人	10時15分	朝礼終了後、歩行訓練に出発する際、地震発生。合図と共にその場に座り、揺れがおさまるまで待機し(スマイルは2階の作業室で)、その後第二避難所に避難した。
8/31 (木)	地震・情報伝達 訓練	職員 1人 1人	8時30分	突発的な地震の発生を想定して、施設の被害状況について、浜松市社会福祉課に被害状況報告書をFAXにて送付する。
11/16 (木)	火災・消火	利用者 58人 職員 16人 74人	12時50分	昼休み中、厨房より火災発生。館内放送の後、最初に本館ホール及び2階にいる利用者さんが、第二避難所に避難。その後、ピット、工房の利用者さんを誘導。終了後、消火担当者は消火器の場所を全員で確認した。
平成30年 2/20 (火)	地震・避難	利用者 58人 職員 14人 72人	11時10分	午前作業中に地震発生。それぞれの作業場で机の下に隠れ等の初期対応を実施。その後第二避難所に避難をし、利用者1名が転んで骨折したとの想定で、処置について研修を実施した。

7. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

受け入れはなかったが、引き続き自立相談支援機関と連携して必要に応じ支援を行っていく。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受け入れは2校、産業現場等における実習の受け入れは3校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	
4	3		6			1	7	14	
5		3		3		4	8	7	
6	1		3		9	4	9	10	
7		3		2	4	4	9	10	
8	3	5	1	5	2	2	8	8	
9	6		4		6	5	6	8	
10		2	1		2	3	10	7	
11	2			9	2	3	8	10	
12			1		2	3	7	10	
1			3		4	4	9	6	
2	4		2		2	3	9	6	
3				10	1	1	10	7	
計	19	13	21	29	34	37	100	104	

Ⅲ み な み (就労継続支援 B 型事業所)

1. 施設運営

- ・事業所が日々明るく楽しい生活の場でなくてはならないという観点を重視し個別支援計画に基いて本人の希望や家族の思いが充分反映されるよう一人一人にきめ細やかな支援を心がけて活動を行なった。
- ・作業を通じて労働集団の豊かな形成につとめると共に働く場との意識向上につとめた。また、療育的な支援や余暇活動の充実等、総合的な支援を行なった。

2. 施設利用状況

(定員20名)

項 目		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
施設利用状況	開所日数	日	268	268	254
	契約者数	人	23	22	22
	延べ人数	人	5,319	5,158	5,237
	1日平均		19.8	19.2	20.6
	利用率	%	99.2	96.2	103.1

・利用者の状況 (平成30年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				22	重複所持
	5	2	4	9	2	0	0	0	0	0		
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女		
	1	6	7	6	0	2	0		18	4		
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	4	4	7	6	1	0	4.2	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	2	2	0	0	1	18	4	0	0	0	5	0

3. 就労支援事業：全体

(単位：円)

事 業	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
自主作業	978,175	1,057,248	79,073
下請作業	1,390,953	1,740,905	349,952
合 計	2,369,128	2,798,153	429,025

①自主作業

(単位：円)

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
果 樹 園 芸	305,565	449,961	144,396
染 織 縫 製	672,610	607,287	△65,323
合 計	978,175	1,057,248	79,073

②受託作業

(単位：円)

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
農 場 整 備	1,390,953	1,740,905	349,952
清 掃 作 業			
下 請 作 業			
合 計	1,390,953	1,740,905	349,952

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	平成28年度	平成29年度	差 額
平均	8,143	8,474	331
最高	13,582	14,418	836
最低	3,448	2,567	△881

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度	
総支給額	137,780	137,760	149,760	149,820	183,760	225,770	159,840	139,780	264,460	139,760	179,780	419,790	2,288,060	2,068,750	
月額最高額	11,320	11,080	12,110	11,990	14,930	19,050	13,200	11,180	13,270	12,450	15,430	27,010	14,418	13,582	
月額最低額	2,730	2,030	1,740	2,770	1,000	2,360	3,880	3,500	3,590	1,000	1,000	5,200	2,567	3,448	
													平均工賃月額	8,474	8,143

※本年度より平成29年12月は賞与（一律5,000円、¥110,000）、平成30年3月は年度末手当（一律5,000円、¥110,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) クラブ活動

利用者の希望を取り入れて、絵画・音楽・書道・手工芸・マラソン等のクラブ活動を実施した。

(2) 茶話会

毎月1回茶話会を行い、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者にはプレゼントを渡し、また皆勤者にはその努力をたたえた。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日常生活を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的にとりくんだ。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行 事 名
平成29年	
4月 1日	新年度業務開始
4月 26日	健康診断（胸部 x-p、血液検査）
5月 17日	家族会・三事業所合同「綿の種まき」
5月 20日	防潮堤「げんきの森」除草
5月 24日	家族会総会
5月 28日	知久農業体験教室共催事業（第1回 綿花・ひまわりの種まき 他）
6月 3日	南高波菜濤祭パネル・絵画展示
7月 16日	知久農業体験教室共催事業（第2回 ひまわりの花つみ 他）
8月 4日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 24 th in 四季彩堂』を
～ 6日	開催
8月 21日	氷まつりに参加
9月 2日	きらりナイトにて製品販売
9月 22日	社会体験旅行 【日帰り：南知多ビーチランド】
9月 27日	家族会・三事業所合同「綿つみ」
10月 5日	静岡県授産製品コンクールに出品
10月 21日	社会福祉法人遠江学園20周年記念式典（ホテルコンコルド浜松）
11月 4日	見付宿たのしい文化展にて製品販売
～ 5日	
11月 5日	きらら浜松にて製品販売
〃	知久農業体験教室共催事業（第3回 綿つみ、収穫祭 他）
11月 11日	浜松こども園運動会参加
11月 28日	オレンジマラソンに参加（計3名）
11月 29日	陽だまりの里 足立柿園に遠足
12月 4日	生命保険より車椅子贈呈
12月 8日	歯科健診
12月 10日	知久農業体験教室共催事業（第4回 糸つむぎ、機織り体験 他）
12月 14日	愛護ギャラリー展（静岡県コンベンションセンター グラソップ）にて出展
～18日	工芸部門にて奨励賞を受賞
平成30年	
1月 12日	『新成人を励ますつどい』実施（対象者2名）
1月 13日	新津中学校 PTA バザー
2月 23日	新入所者オリエンテーション
3月 26日	平成30年度入所式・小遠足（花川運動公園）

6. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成29年 4/ 7 (金)	不審者 防犯訓練	利用者 20名 職員 4名 24名	10時00分	みなみの南側入り口から不審者が侵入するという想定で行った。防護できるものを用意しアルファに移動し避難した。
4/ 25 (火)	地震・ 津波避難訓練	利用者 23名 職員 6名 29名	10時50分	グラウンド歩行中、遠州灘沖で震度7の地震が発生したと想定する。職員による安否確認後、ライフジャケットを装着して避難タワーまで避難及び誘導する。安全を確保しながら最上階まで上がる。
6/21 (水)	水災害による 避難訓練	利用者 19名 職員 5名 24名	13時00分	大雨警報、洪水警報発令。大雨により冠水、浸水が徐々に進んでいる状態を想定。安全を確保する為、全員で2階へ上がった。この日は大雨が降っていた為、道路の浸水が落ち着いてから送迎を行う。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
8/ 31 (木)	地震・情報伝達訓練	職員 1名	8時30分	突発的な地震の発生を想定して、施設の被害状況について、浜松市社会福祉課に被害状況報告書をFAXにて送付する。
9/ 28 (金)	Jアラートによる避難訓練	利用者 19名 職員 5名 24名	10時00分	朝礼中に全国瞬時警告システムJアラートが鳴るといふ、想定で行った。窓から離れて頭を伏せて守るように行った。
10/ 3 (火)	地震及び火災災害における研修	利用者 0名 職員 1名 1名	13時00分	茨城県東海村に学ぶ災害時の方法の講演を聞き、介護者としての対応を学んだ。
11/1 (水)	地震・津波避難訓練	利用者 19名 職員 5名 24名	10時50分	午前の作業中の地震を想定。ライフジャケットとヘルメットを着用して避難タワーに移動した。(自治会長に事前に許可をとった。)
11/2 (木)	火災避難訓練	利用者 18名 職員 4名 22名	10時20分	こども園の湯沸室から火災が発生(想定)。安全に避難し、こども園の職員と共にバケツを使い消火活動する。消防士さんの話やビデオを観て、知識を高めた。最後に消防車を見学させてもらう。
平成30年 3/ 7 (水)	不審者防犯訓練	利用者 21名 職員 5名 26名	10時00分	みなみの南側入り口に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。全部の窓を閉め防護できるものを用意しアルファに移動し避難した。

7. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

自立支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)の斡旋に応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受け入れの申請を行った。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受入れは1校、職場体験実習の受入れは3校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	
4	2	2					2	2	
5	1			2			14	9	
6	1		3		11	10	2	2	
7				10			2	2	
8	1		3				3	2	
9	2	2	28	1			1	2	
10	1	1	1		2	2	4	14	
11					2	10	2	6	
12			6	1	2	1	2	2	
1		2					2	2	
2		2						5	
3		1					3	5	
計	8	10	41	14	17	34	37	53	

IV まつかさ（就労継続支援B型事業所）

1. 施設運営

まつかさは、就労継続支援事業B型事業として、「働く」という視点を重視し、就労の機会を提供することを心がけてきた。「施設外就労」が定着し、多くの利用者さんが、施設外での作業を経験することになり、働く力の向上につながった。

また、本人の希望や家族の思いが十分反映されるよう、面談を随時実施し、きめ細かな支援を心がけてきた。気持ちが安定していない方や様々な事情で事業所に来られない方に対しては、家庭訪問や通院等の支援も行った。

2. 施設利用状況

（定員20名）

項目	単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
施設利用状況	開所日数	日	268	268
	契約者数	人	23	21
	延べ人数	人	5,196	5,194
	1日平均		19.4	19.4
	利用率	%	96.9	96.9

・利用者の状況（平成30年3月31日現在）

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女	
	12	3	1	3	2	0	0	0	0	0	21		
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女			
	1	9	7	2	1	0	1					15	6
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	0	0	4	7	5	0	2.9	5					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			
	0	0	0	0	0	12	9	0	1	0	1	0	

3. 就労支援事業：全体

（単位：円）

事業	平成28年度収益	平成29年度収益	差額
自主作業	577,815	332,410	△245,405
下請作業	2,651,549	3,047,846	396,297
合計	3,229,364	3,380,256	150,892

①自主作業

（単位：円）

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差額
果樹園芸	1,500	13,840	12,340
染織縫製	576,315	318,570	△257,745
合計	577,815	332,410	△245,405

②受託作業

(単位：円)

作業種目	平成28年度収益	平成29年度収益	差 額
農 場 整 備	2,651,549	3,047,846	396,297
清 掃 作 業			
下 請 作 業			
合 計	2,651,549	3,047,846	396,297

4. 工賃実績：全体

(単位：円)

	平成28年度	平成29年度	差 額
平均	11,467	12,660	1,193
最高	17,139	20,259	3,120
最低	2,023	2,516	493

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	219,780	229,820	239,810	249,750	259,740	265,290	265,760	266,820	384,830	259,760	239,830	321,960	3,203,150	3,073,350
月額最高額	16,640	17,440	18,720	19,900	21,060	21,070	20,880	21,130	25,110	19,370	18,050	23,740	20,259	17,139
月額最低額	1,000	1,000	1,000	2,340	2,680	2,800	2,860	1,000	6,000	1,340	2,550	5,620	2,516	2,023
	平均工賃月額												12,660	11,467

※本年度より平成29年12月は賞与（一律5,000円、¥105,000）、平成30年3月は年度末手当（一律3,000円、¥63,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

5. 生活支援

(1) 茶話会

毎月1回茶話会を行った。工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者にはプレゼントを渡した。

(2) 社会活動

利用者が楽しく豊かに日々を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的に取り組んだ。

〈年間行事及び地域社会活動〉

実施日	行 事 名
平成 29 年	
4 月 1 日	新年度業務開始
4 月 25 日	歯科健診
4 月 26 日	健康診断（胸部 x-p、血液検査、尿検査）
5 月 17 日	家族会・三事業所合同「綿の種まき」
5 月 24 日	家族会総会
5 月 28 日	知久農業体験教室共催事業（第 1 回 綿花・ひまわりの種まき 他）
7 月 16 日	知久農業体験教室共催事業（第 2 回 ひまわりの花つみ 他）
8 月 4 日 ～ 6 日	四季彩堂（有玉本店）にて『もうひとつの秀逸展 24 th in 四季彩堂』を開催
8 月 29 日	保護者懇談会
9 月 22 日	社会体験旅行 【日帰り：中部国際空港とトヨタ産業技術記念館】
10 月 15 日	労福協まつりにて授産製品販売
10 月 21 日	社会福祉法人遠江学園 20 周年記念式典（ホテルコンコルド浜松）
11 月 4 日	聖灯祭（聖隷クリストファー大学）にて製品販売
11 月 5 日	知久農業体験教室共催事業（第 3 回 綿つみ、収穫祭 他）
11 月 11 日	中区ふれあい交流会に参加
12 月 10 日	知久農業体験教室共催事業（第 4 回 糸つむぎ、機織り体験 他）
平成 30 年	
1 月 12 日	『新成人を励ますつどい』実施
2 月 23 日	新入所者オリエンテーション（対象者 1 名）
3 月 26 日	平成 30 年度入所式
3 月 27 日	保護者懇談会

6. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
平成 29 年 8/22 (火)	地震・避難	利用者 8 名 職員 3 名 11 名	10 時 30 分	地震発生を想定。机の下にもぐり、実際にヘルメットも装着した。その後、緊急避難場所に指定されている旧浜松市立北小学校方面に移動できるよう駐車場へ移動した。
8/31 (木)	地震 情報伝達訓練	職員 1 名 1 名	8 時 00 分	突発的な地震の発生を想定して、施設の被害状況について浜松市社会福祉課に被害状況報告書を FAX にて送付する。
11/ 6 (月)	地震・火災 避難	利用者 10 名 職員 3 名 13 名	10 時 00 分	地震発生を想定し、作業台やテーブル等の下に避難し、揺れが収まるまで待機。その後、事務室から出火があり近くの安全な場所へ移動できるよう、屋外へ避難した。全員の安全を確認後、消火器を現場に持ち込み消火訓練を行った。
平成 30 年 3/10 (土)	地震・避難	利用者 21 名 職員 4 名 25 名	9 時 30 分	地震発生後、1 分間の揺れを想定。作業台やテーブルなどの下に避難し、揺れが収まるまで待機。その後 1 次避難所へ移動して、点呼をし、安全の確認をした。更に、緊急避難所(第 2 次避難所)となっている旧浜松市立北小学校まで、避難経路を歩き、道中の危険についても確認した。

7. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

実習の受入れは4校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	
4	2	1	6	2					
5	3	8	8	4					
6	4	1	8	6	9	5			
7	7		3	1	9				
8	5	12	3	7		7			
9	4		3			9			
10	6	5	2		21	18			
11									
12	4	10							
1		13							
2	1	8				4			
3		24		5					
計	36	82	33	25	39	43	0	0	

V やしま (共同生活援助：グループホーム)

1. 施設運営

- ・個別支援計画に基づいて利用者一人一人の希望や思いに寄り添い、心身共に安定した日々の生活の充実を図った。
- ・地域の一員として奉仕活動・防災訓練等、各種活動に参加し社会的マナーやルールを身につけ、自立した生活に向けて総合的な支援を行なった。

2. 施設利用状況

(定員4名)

項 目		単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	366	365	365
	契約者数	人	4	4	4
	延べ人数	人	1,419	1,424	1,435
	1日平均		3.9	3.9	3.9
	利用率	%	96.9	97.5	98.3

・利用者の状況 (平成30年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
			2	2	0	0	0		4	0		
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	2	2	0	0	3.5	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0

3. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。

(2) 余暇活動の支援

休日には生花・レストランの日・コンサート鑑賞・買い物・外出支援等、ご本人の希望に添って余暇時間の充実を図った。また、地域で開催される各種活動(市・地区社協イベント・農業体験教室等)にも参加した。

《やしま余暇支援活動》

活動名	実施回数	活動内容
レストランの日	6回	市内のレストランにて外食
生け花	2回	自室に季節の花を飾る
コンサート・演劇鑑賞	2回	ミュージカル鑑賞・絆コンサート鑑賞
料理	3回	お好み焼き・サンドウィッチ・やきそばをつくって食べて楽しむ
温泉の日	10回	市内の入浴施設を利用する
清掃奉仕	3回	地域除草作業に参加する
交流活動、買い物支援、小旅行	月1～2回	卸本町夏祭り、南区ふれあい交流会、防潮林除草奉仕活動、農業体験教室等、地域交流活動に参加する。随時買い物や小旅行を楽しむ。

(3) 健康管理

内科・外科・歯科への通院の支援を行った。また、定期的に歯みがき支援や服薬管理を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底、インフルエンザその他の予防を行った。

(4) 菜園管理

野菜の栽培や収穫を体験し、料理に活用する等して菜園での活動を楽しんだ。

4. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
29年 4/22 (土)、 23(日)	大津波発生防潮堤講座	利用者 3名 職員 2名 5名 その他多数の地域住民	10時00分	「鴨江アートセンターに於いて九州大学院 工学研究院 環境社会部門教授の清野聡子氏の講座を聞き、津波発生メカニズムや防潮堤等について学ぶ。
5/12 (金)	火災・避難	利用者 4名 職員 3名 7名	19時	前回靴の履き替えに時間を要したことを反省点としてスリッパのまますばやく避難行動をとることを目標とした。
7/20 (木)	水災害避難	利用者 4名 職員 2名 6名	8時00分	大雨洪水警報が発令されたことを想定して雨合羽、長靴を着用し、備蓄してある、水、乾パンを持ち、ヘルメット、軍手をつけ、みなみへ移動する。テレビ、ラジオ、携帯等で避難状況を確認する。
8/31 (木)	地震・津波避難	利用者 4名 職員 2名 6名 その他多数の地域住民	17時00分	やしまで各々居室にて過ごしている際に地震発生を想定。ライフジャケットを着用して避難する。2次避難所、南高校の場所を確認する。
9/3 (日)	地域防災訓練	利用者 3名 職員 2名 5名 地域住民、消防関係者、自治会役員 50人	8時30分	大津波の襲来を想定して津波避難訓練を行う。ライフジャケット、ヘルメットを着用し「津波だ逃げろ」と叫びながら避難タワーへ向かい登る。その後、消火器の使用について説明を受け消火活動を体験する。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
12/2 (土)	防犯訓練	利用者 4名 職員 3名 7名	13時00分	昼食時、玄関に不審者がいることを想定する。全員でリビング南側のはき出し口から隣家裏を通り、「みなみ」まで速やかに移動する。
30年 3/4 (日)	ライフジャケット 着用訓練	利用者 4名 職員 1名 5名	17時00分	やしまで各々居室にて過ごしている際に地震発生を想定。ライフジャケットを着用について短時間の着用や仲間同士での援助について話し合う。

火災・地震津波対策に加えて大雨による水害、防犯対策についての強化が必要と考えられたため、防災規程年4回の規定に追加して、随時避難場所や避難経路の確認やライフジャケット着用訓練・防災環境の確認を行った。特に地域での防災訓練には欠かさず参加し、地域住民や消防署員、及び警察関係者にグループホームの実態についても確認してもらうことが出来た。

5. その他

- ①個別支援計画について、本人との面談を随時行う。また、隔月に支援会議を行う。
- ②世話人、生活支援員、利用者4名と共にテーマを設けて、座談会方式でミニ講座を適宜開催した。
- ③虐待防止についてチェックリストを活用する。

VI あかね（共同生活援助：グループホーム、短期入所：ショートステイ）

1. 施設運営

・共同生活援助事業

知的な障害者に対して「住まいの場」を提供し、自立に向けた必要な技能や地域の中で生活していくためのルール等、総合的支援を行った。

また、利用者さんの思いによりそい、より個別化した支援が行えるよう努力した。相談支援事業所とも密接な連携を取りながら、利用者の意思決定を大切に生活の充実を図った。

・短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と気持ちよく過ごせるようコミュニケーションの疎通を図り、滞在する利用者一人ひとりの要望に沿った支援を行った。

2. 施設利用状況

(1) 共同生活援助

(定員7名)

項 目		単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	366	365	365
	契約者数	人	7	7	6
	延べ人数	人	2,318	2,325	2,251
	1日平均		6.3	6.4	6.2
	利用率	%	90.5	91.0	88.1

・利用者の状況（平成30年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし	
	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	6		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女			
	0	2	1	2	0	1	0		0	6			
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	0	1	3	2	0	0	3.8	0					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳				重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級	0	0	
	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	

(2) 短期入所

(定員1名)

項 目		単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	366	365	365
	延べ利用者数	人	378	463	507
	稼働日数	人	201	237	283
	利用率	%	54.9	64.9	77.5

・利用者の状況（平成30年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	12	4	7	10	2	0	0	0	0	1	36	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	16	10	7	1	2	0		25	11		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	3	6	14	8	5	0	3.8	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級	3	
	2	1	0	0	0	27	9					

3. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。また、夜間の不眠者に対し、医療面の対応と同時に本人の気持ちに寄り添う支援を行った。

(2) 余暇活動の支援

休日には、市内の公園・美術館等の散策、買い物支援等を行い、余暇時間の充実を図った。またレストランの日を設け、外出の際のマナーやルールについて支援した。地域で開催される各種活動にも積極的に参加し、月に一度行われる販売会では、販売を担当した。

〈あかね支援活動〉

活 動 名	実施回数	活 動 内 容
レストランの日	11回	市内のレストランにて外食
市内散策	9回	浜松市立動物園、秋野不矩美術館、浜松城公園、気賀関所、大河ドラマ館等散策。図書館利用
年中行事	11回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会 他
地域の行事参加	2回	百園自治会夏祭り、社会福祉法人和光会夏祭り等
販売会见学	1回	四季彩堂販売会见学
販売会担当	月1～2回	毎月第3日曜日、伯明デイサービス「のきした市」にて授産製品を販売 他
移動支援	24回	移動支援サービスを利用し、外出する(1名)
買い物支援	月1～2回	随時買い物に同行する
料理	8回	焼きそば、お好み焼やサラダ、ジャム等を作り食べて楽しむ
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、プランターへの灌水、生け花

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるようお互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

(3) 健康管理

内科・歯科・皮膚科・神経科への通院の支援を行った。また定期的に歯みがき支援や治療のための支援を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底をはかり、希望者にはウィルハントの販売を行い、インフルエンザ等の予防を行った。また、加湿空気清浄機を設置し、環境を整えた。

4. 災害防災対策

避難訓練を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
29年 7/5 (水)	火災・避難	利用者 7+1 名 職員 3 名 11 名	19 時 01 分	夕食後、お風呂場より出火を想定。上靴のまま、食堂出入口より駐車場北西に避難。バケツ、及びペットボトルリレーによる消火訓練を行った。合わせて消火器点検を行う。
9/10 (日)	地震	利用者 4+1 名 職員 2 名 7 名	10 時 24 分	地震発生の場合を行い、テーブル下やトイレに避難を呼びかける。揺れがおさまってから駐車場に一時避難し、その後避難場所「ひくまの」に歩いて避難した。
12/3 (日)	地域防災訓練	利用者 4+1 名 職員 2 名 7 名	10 時 00 分	地震発生を想定。テーブルの下等に隠れ、揺れがおさまってから、ヘルメット着用し、「ひくまの」へ避難。その後、地域防災訓練に参加。心肺蘇生訓練を見学、消火訓練に参加した。
3/12 (月)	火災・通報 ・避難	利用者 6+1 名 職員 3 名 10 名	17 時 00 分 19 時 00 分	・風呂場より出火を想定し、消防署への通報訓練を行った。 ・夕食後、風呂場より出火を想定。煙を吸い込まないようにハンカチやマスクで口を覆い、上靴のままリビングの窓より駐車場へ避難を行う。

6. その他

入所者 1 名が家庭帰省時に大腿骨骨折し入院。回復の見通しが困難となり、1 月末退所となった。